

2022年度（令和4年度）活動報告

■活動報告

実施期間：2022年4月1日～2023年3月31日

項目	事業内容
<p>(1) 路上生活者や生活困窮者発見のための活動</p>	<p>●炊出し</p> <p>①甲府市及び周辺地域の路上生活者や生活困窮者を対象とした炊出しは、コロナ禍により3年連続しての中止となった。</p> <p>②代替策として、食料配布を毎週木曜日に甲府カトリック教会で行った。フードバンク山梨や社会福祉協議会(県、市)及び、個人からの寄付により精米、アルファ米、菓子、飲料、野菜等を配布した。</p> <p>期間中 47 回実施し、利用者は 1,881 人であった。1 回当たり 40.0 人となり前年の 32.7 人を上回った。食品や電気ガス代の高騰による利用者増と推測される。</p> <p>③恒例の年末交流食事会も中止となったが、赤い羽根助成金を活用して年末年始にふさわしい食料や医薬品を配布した。</p> <p>④利用者との相談を通じ、路上生活者や低年金者を生活保護申請に結びつけた事例があった。</p> <p>●パトロール</p> <p>①ボランティアによる甲府市及び周辺市町部の河川敷、公園等の巡回パトロールを隔月で実施し、路上生活者尚数、当該生活者の置かれている環境、ニーズ、生活歴、健康状態等の聞き取り調査を行うとともに、弁当配布等による支援を行った。8月と12月は夜間のパトロールを行い、昼間発見できない方への対応をした。</p> <p>②職員によるパトロールも週1～2回実施した。</p> <p>パトロールの回数は58回、参加者は延べ138名であった。</p> <p>●メールや電話による相談</p> <p>①困窮者本人のみでなく県内外の支援者、団体からの相談にも対応し、面談や具体的支援に結びつけた。</p> <p>②メール活用により時間外の対応、遠方の人からの相談に対応できた。</p>
<p>(2) 生活困窮者支援のための活動</p>	<p>●住居喪失者への支援</p> <p>甲府市、山梨市、笛吹市、都留市からの一時生活支援事業受託により、緊急一時宿泊所(ライフ荘)にて住居を失った方への衣食住の提供を行った。利用者は51名、宿泊数は362泊であった。</p> <p>●訪問相談支援</p> <p>①ライフ荘利用者や路上生活者及び在宅生活困窮者宅を訪問し以下の相談支援活動を行った。</p> <p>生活保護申請10名、就労相談延べ99名(就労実績21名)、病院受診同行延べ14名、アパート手配7名等。</p>

	<p>②看護師による炊出し会場や巡回での健康相談を延べ 2,073 名に行い、困窮者の健康維持向上のための問題発見や助言を行った。コロナ感染症予防のための相談も行い、ワクチン接種予約ができない人の予約支援も行った。</p> <p>③甲府市からの委託により、ひきこもりの方への定期訪問及び、生保受給や就労によって一次支援が終了した方のフォロー訪問を延べ 132 名(261 回)に行い地域生活への定着を支援した。</p>
<p>(3) 地域連携活動</p>	<p>●生活困窮者には心身の健康状態の悪い方が多いことから、地域の医療機関等との連携を深めた。</p> <p>①無料低額診療事業 … 甲府共立診療所、石和共立病院、住吉病院</p> <p>②障害者支援 … 障害者基幹相談支援センター、地域包括支援センター</p> <p>③独居高齢者支援 … 地域包括支援センター</p> <p>●多重債務者で債務整理が必要と思われる人については、法テラスに繋げた。</p> <p>●コロナ禍で収入低下した人の社会福祉協議会の福祉資金貸付利用に結びつけた。</p> <p>●当法人の就労支援に協力いただける企業等との連携を深めた。</p> <p>派遣業、ホテル業、土木建築業、警備業</p>
<p>(4) 情報発信活動 情報収集活動</p>	<p>●ニュースレターを 2 回(5 月、10 月各 1500 部)発行した。関連行政機関、協力団体、支援者等に送付し活動の重要性と成果・課題の普及に努めた。</p> <p>●新聞、TV 等マスコミを通じた県民への情報発信を行った。</p> <p>●ホームページを拡充し、メールによる相談受付も行った。</p>